

タモキシフェン錠 10mg 「日医工」
タモキシフェン錠 20mg 「日医工」

【この薬は？】

| | | |
|--------------|---|---|
| 販売名 | タモキシフェン錠 10mg 「日医工」 tamoxifen tablets 10mg | タモキシフェン錠 20mg 「日医工」 tamoxifen tablets 20mg |
| 一般名 | タモキシフェンクエン酸塩 tamoxifen citrate | |
| 含有量 (1錠中) | 15.2mg (タモキシフェンとして 10mg) | 30.4mg (タモキシフェンとして 20mg) |

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、乳がん治療薬のうちホルモン療法剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、主に乳がん細胞のエストロゲン受容体に作用し、がん細胞が増殖するのを抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

乳癌

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・過去にタモキシフェン錠「日医工」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・白血球減少あるいは血小板減少のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

| 販売名 | タモキシフェン錠 10mg 「日医工」 | | タモキシフェン錠 20mg 「日医工」 |
|------|------------------------|------|------------------------|
| | 1錠 | 2錠 | 1錠 |
| 一回量 | 1錠 | 2錠 | 1錠 |
| 飲む回数 | 1日2回 | 1日1回 | 1日1回 |

一日最高使用量は、タモキシフェン錠 10mg 「日医工」は4錠、タモキシフェン錠 20mg 「日医工」は2錠までです。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないで下さい。気が付いたときに、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬によって、子宮体がん、子宮肉腫、子宮内膜ポリープ、子宮内膜増殖症、子宮内膜症がみられることがあるので、早期発見のため、使用中および使用後も定期的な検査が行われることがあります。不正出血などの症状があらわれたら直ちに受診してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|-----------------------------|---|
| 無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう | 発熱、のどの痛み |
| 白血球減少 はっけつきゅうげんしょう | 発熱、のどの痛み |
| 好中球減少 こうちゅうきゅうげんしょう | 発熱、のどの痛み |
| 貧血 ひんけつ | 階段や坂を上る時の動悸（どうき）や息切れ、頭痛、耳鳴り、めまい、からだがだるい |
| 血小板減少 けっしょうばんげんしょう | 鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい |
| 視力異常 しりょくいじょう | ものの形が見えにくい、視力の低下、眼のかすみ |
| 視覚障害 しかくしょうがい | 見えにくい、眼のかすみ |
| 血栓塞栓症 けっせんそくせんしょう | 吐き気、血を吐く、腹がはる、嘔吐（おうと）、胸の痛み、胸をしめつけられる感じ、激しい腹痛、出血、足の激しい痛み、知覚のまひ、胸を強く押さえつけた感じ |
| 静脈炎 じょうみやくえん | 痛み、はれ、押すと痛い |
| 劇症肝炎 げきしょうかんえん | 発熱、意識がなくなる、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ、尿の色が濃くなる、判断力の低下 |
| 肝炎 かんえん | からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、皮膚が黄色くなる |
| 胆汁うっ滞 たんじゅううったい | 白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、かゆみ、皮膚が黄色くなる、褐色尿 |
| 肝不全 かんふぜん | 吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ |
| 高カルシウム血症 こうカルシウムけっしょう | 尿量が多い、口の渇き、水を多く飲む、吐き気、嘔吐（おうと）、注意力が散漫になる |
| 子宮筋腫 しきゅうきんしゅ | 月経時の出血が異常に増える |
| 子宮内膜ポリープ しきゅうないまくポリープ | 不正出血、月経時の出血が異常に増える、月経期間が長引く |
| 子宮内膜増殖症 しきゅうないまくぞうしょくしょう | 不正出血、月経時の出血が異常に増える、月経期間が長引く |

| | |
|---|--|
| 子宮内膜症 しきゅうないまくしょう | 不正出血、月経時の出血が異常に増える、月経期間が長引く |
| 間質性肺炎 かんしつせいはいえん | 発熱、から咳、息苦しい、息切れ |
| アナフィラキシー アナフィラキシー | しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸（どうき）、息切れ、息苦しい、からだのだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつき |
| 血管浮腫 けっかんふしゅ | 舌のはれ、唇のはれ、まぶたのはれ、じんましん、息苦しい |
| 皮膚粘膜眼症候群 （Stevens-Johnson 症候群） ひふねんまくがんしょうこ うぐん（スティーブンス- ジョンソンしょうこうぐん） | からだのだるい、食欲不振、発熱、高熱、中央にむくみをと もなった赤い斑点、赤い発疹（ほっしん）、まぶたや眼の充血、 結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、陰部の痛 み |
| 水疱性類天疱瘡 すいほうせいるいてんぼう そう | 水ぶくれを伴う発疹（ほっしん） |
| 膝炎 すいえん | 胃・おなかの激しい痛み、背中の痛み、吐き気、嘔吐（おう と） |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|-----|---|
| 全身 | からだのだるい、ふらつき、押すと痛い、高熱、痛み、発熱 |
| 頭部 | 頭痛、めまい、意識がなくなる、意識の低下、考えがまと まらない |
| 顔面 | ほてり、鼻血 |
| 眼 | まぶたのはれ、まぶたや眼の充血、ものの形が見えにくい、 眼と口唇のまわりのはれ、眼のかすみ、結膜のただれ、見え にくい、視力の低下、白目が黄色くなる |
| 耳 | 耳鳴り |
| 口や喉 | から咳、しゃがれ声、のどの痛み、ひどい口内炎、眼と口唇 のまわりのはれ、血を吐く、口の渇き、歯ぐきの出血、唇の はれ、唇や口内のただれ、水を多く飲む、舌のはれ、吐き気、 嘔吐（おうと） |
| 胸部 | 階段や坂を上る時の動悸（どうき）や息切れ、胸の痛み、胸を しめつけられる感じ、胸を強くおさえた感じ、息苦しい、息 切れ、吐き気、動悸（どうき） |
| 腹部 | 食欲不振、吐き気、胃・おなかの激しい痛み、激しい腹痛、 腹がはる |
| 背中 | 背中の痛み |
| 手・足 | 羽ばたくような手のふるえ、足の激しい痛み |

| | |
|-----|---|
| 皮膚 | あおあざができる、かゆみ、じんましん、はれ、水ぶくれを伴う発疹（ほっしん）、赤い発疹（ほっしん）、中央にむくみをともなった赤い斑点、皮下出血、皮膚が黄色くなる |
| 尿 | 褐色尿、尿量が多い、尿が黄色い |
| その他 | 月経期間が長引く、月経時の出血が異常に増える、不正出血、出血、出血が止まりにくい、知覚のまひ、陰部の痛み、判断力の低下、注意力が散漫になる |

【この薬の形は？】

| 販売名 | タモキシフェン錠 10mg 「日医工」 | タモキシフェン錠 20mg 「日医工」 |
|-------|--|---|
| 形状 | 円形の錠剤  | 円形の錠剤 (フィルムコーティング錠)  |
| 直径 | 7.0mm | 10.0mm |
| 厚さ | 3.0mm | 4.3mm |
| 重さ | 120mg | 361.9mg |
| 色 | 白色 | 白色 |
| 識別コード | n 2 2 0 | n 1 2 1 |

【この薬に含まれているのは？】

| 販売名 | タモキシフェン錠 10mg 「日医工」 | タモキシフェン錠 20mg 「日医工」 |
|------|--|---|
| 有効成分 | タモキシフェンクエン酸塩 | |
| 添加物 | 乳糖、セルロース、ポビドン、カルメロースカルシウム、ステアリン酸マグネシウム | 乳糖、トウモロコシデンプン、クロスカルメロースナトリウム、コハク化ゼラチン、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール、タルク、酸化チタン、カルナウバロウ |

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
販 売 元：日医工株式会社 (<http://www.nichiiko.co.jp/>)
くすりの相談窓口の電話番号 TEL(フリーダイヤル)：(0120)517-215
受付時間：9時～17時（土、日、祝日その他当社の休業日を除く）
製造販売元：日医工ファーマ株式会社